

弘大・ウェルビーイング研究所

最高顧問にカワチ氏

米ハーバード大学教授

心身の健康や社会全体の幸福を意味する「Well-being(ウェルビーイング)」の研究を進める弘前大学の「グローバルWell-being総合研究所」の最高顧問に、米ハーバード大学教授で、社会疫学が専門のイチロー・カワチ氏(64)が就任した。来

年春に本格稼働する同研究所の研究戦略について、国際的な視点から指導・助言



イチロー・カワチ氏
(弘前大提供)

する。19日、弘大が発表した。

カワチ氏は、1961年東京生まれ。12歳でニューヨークに移住し、オタゴ大学医学部卒業後、内科医として同国で診療に従事した。92年からハーバード

いが、定期的に来所する。12月12日、弘前大本町キャンパスで行われる開所式では、「社会疫学からみえるWell-being研究の重要性」と題して特別講演を行う。

弘前大は24年度、文部科学省の「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(J-PEAKS)」に採

科長が就任した。
村下公一副学長(ウェルビーイング戦略担当、同研究所副所長)は「カワチ氏は、多数のウェルビーイング研究業績を持つ世界的第一人者。その豊富な知見と研究ネットワークを生かし、世界的な研究拠点の形成を目指していきたい」と語った。

(菊谷賢)

東日本大震災後、日本社会の絆が健康に与える長期的な影響を調査している。米医学研究所や米科学アカデミーのメンバーにも選出されている。

最高顧問就任は10月1日付。総合研究所に常勤しな